

須山第三発電所建設計画についてのおしらせ

事業内容

本事業は、静岡県裾野市須山地区に大規模太陽光発電施設（メガソーラー施設）を建設するものです。本事業を実施することで、一般家庭の約520世帯分の電力を発電し、温室効果ガスの排出量を抑制することができます。



計画地の位置

| 項目 | 内容 |
|-----------------------|---|
| 名称 | 須山第三発電所 |
| 所在地 | 静岡県裾野市須山 2720 |
| 敷地面積 | 25,301m ² |
| 年間予想発電量 | 1,878,512kWh |
| 総設備容量 | 1,807kW |
| CO ₂ 削減換算量 | 1,045t-CO ₂ /年 |
| 施設の主要設備 | 太陽電池モジュール：7,088枚 パワーコンディショナー：6台 キュービクル：1式 |
| 工事予定時期 | 平成27年8月～平成28年3月 |
| 供用開始予定 | 平成28年3月 |



弊社の既存の太陽光発電（須山第二発電所）

工事工程

工事期間は、平成27年8月から平成28年3月までの8ヶ月間を予定しています。施設の供用は、平成28年3月から開始する予定です。

事業実施に際しての環境配慮の取組について

事業の実施にあたっては、立地環境、施設の存在及び供用、工事の面から環境配慮に関する検討を行いました。

立地環境

◆施設は、造成された草地に設置するものです。そのため、本事業の実施により、重要な動植物の生息・生育地などの自然環境、重要な地形・地質又は土壌等への影響はありません。

施設の存在及び供用

- ◆本事業は、太陽光発電を設置するものであり、施設の供用によって大気汚染物質、騒音・超低周波音、振動、悪臭、廃棄物は発生しません。
- ◆太陽光発電パネルの洗浄には有機溶剤等は使用せずに洗浄するため、水質汚濁の発生は生じないと考えます。
- ◆太陽光発電施設の敷地内は、須山第一発電所及び須山第二発電所と同様に碎石を敷設し、雨水を極力地下浸透させる計画としています。
- ◆施設は、草地に設置するため、重要な動植物の生息・生育地など自然環境、人と自然との触れ合い活動の場への影響はないと考えます。
- ◆設置する太陽光発電パネルは、須山第一発電所及び須山第二発電所と同様に反射防止膜を使用した黒い色彩の設備を導入し、反射が少なく模様が目立たないものを採用するため、富士山の眺望景観への影響は低減されるものと考えます。
- ◆本事業の供用により年間 1,878,512kWh の発電量を計画しており、温室効果ガスの抑制に貢献できます。これによる CO₂ 削減換算量は、1 年間当たり 1,045t-CO₂、となります。また、計画地には、既設の須山第一発電所及び須山第二発電所と同様に掲示板を設置し、太陽光発電所による発電電力量や CO₂ 削減換算量を表示する予定であり、施設来訪者等に地球環境問題に関する意識醸成にも寄与できるものと考えます。
- ◆須山第一発電所及び須山第二発電所と同様に反射防止膜を使用した設備を導入ため太陽光発電パネルによる反射光被害は低減できると考えます。

工事

- ◆建設機械の稼働に伴う大気汚染や騒音・振動を抑制するため、排出ガス対策型、低騒音型・低振動型建設機械の使用、作業の平準化、アイドリングストップに努めます。
- ◆建設資材搬送のための工事用車両による渋滞を緩和し、大気汚染や騒音・振動を抑制するため、建設に係る車両の台数を一日 5 台程度（片道）とします。また、工事用車両のアイドリングストップや安全走行を厳守します。
- ◆工事の実施に伴い、現況の草本を除草するため、一時的に裸地が出現しますが、除草後は速やかに碎石を敷設することで、工事裸地からの降雨時濁水の発生を抑制できるものと考えます。
- ◆工事中に発生する建設廃棄物については、処理業者により適切に処分します。また、現場内で発生した建設発生土は、現場内敷均しを行い、極力場外への搬出は行わない計画とします。

本事業によるご意見を平成 28 年 3 月 31 日（木）まで受け付けております。
また、詳細な検討内容については、下記連絡先までお問い合わせください。

北日本石油株式会社

担当：工藤 真人

住所 東京都中央区日本橋蛸殻町 1 丁目 28-5 ヒューリック蛸殻町ビル 9 階

TEL 03-3669-4201 FAX 03-3664-1232

E-mail mk-kudou@kitanihon-oil.co.jp